

# 東洋陶磁学会 第三十回大会のお知らせ

新秋の候、会員の皆様には益々ご清祥の事と存じます。

この度、平成十四年度の大会を、左記のとおり開催致します。

奮ってご参加下さいますよう、ご案内申し上げます。

東洋陶磁学会

記

\*日時 平成十四年十一月二十九日(金)・三十日(土)

\*テーマ 「磁州窯系陶器の発生と展開」

\*会場 大阪市立美術館・一階講演会室(二十九日)

天王寺公園内映像館(三十日)

(大阪市立美術館：大阪市天王寺区茶臼山町一・八二

TEL 〇六・六七七一・四八七四)

\*日程

二十九日(金) 午後一時より受付 午後二時半開会

・東洋陶磁学会常任委員長挨拶 長谷部楽爾氏

・記念講演

「磁州窯の発展とその経済基盤」 蓑 豊氏

・見学会

特別展「白と黒の競演―中国・磁州窯系陶器の世界―」

大阪市立美術館

・懇親会 午後六時～ 天王寺都ホテル

三十日(土) 午前九時半受付(天王寺公園内映像館)

・特別講演

「磁州窯跡発掘調査の成果と課題」(通訳付)

馬 忠 理氏

(昼食)

・基調講演

「磁州窯研究の現状と展望」 長谷部楽爾氏

・研究発表

「磁州窯系生産地の広がりについて」 森 達 也氏

「磁州窯系陶器の文様意匠の特質」 今 井 敦氏

「磁州窯系陶器の日本への流入と展開」 守屋 雅史氏

・討論 コーディネーター 蓑 豊氏

(特別展は二十九日午後・三十日の両日とも見学できます。)

\*費用

・大会参加費(参加者全員) 二、〇〇〇円

・懇親会費 六、〇〇〇円

・昼食代(三十日、申込者のみ) 一、〇〇〇円

\*交通

・JR・地下鉄「天王寺」、近鉄「あべの橋」下車、徒歩十分

・天王寺公園内、公園入口から入園(入園の際必ず本状を提示)

〔注意〕

・参加申込は十月十五日迄に、振込用紙にてお願い致します。

・天王寺公園は有料ですので、本状お忘れの場合入園料(百五十円)が必要となります。

・宿泊は各自でご用意下さい。

・発表の演題および順序が変更される場合がございます。

東洋陶磁学会

一〇一・〇〇六一 東京都千代田区三崎町二・六・九 三栄ビル二〇一

TEL 〇三・三三三九・一二七七

FAX 〇三・三三三九・一三二六